

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	ライフサイエンス研究開発推進経費	担当部局庁	研究振興局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～	担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 石井康彦				
会計区分	一般会計	施策名	X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ライフサイエンス分野において、効率的・効果的に研究開発を推進するため国内外の研究の状況や社会ニーズ等を把握するための実態調査を行うとともに、ライフサイエンス分野の中でも特に重要な先端医学研究、研究基盤整備の推進方策について検討を行う。また、最先端のライフサイエンス研究に関する諸課題に関し、法令に基づく対応、研究の進展状況を踏まえた対応、事業者への法令等の周知による法令等の遵守の徹底等を図り、最先端のライフサイエンス研究の発展と社会の調和に貢献する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ライフサイエンス分野の研究開発の推進全体に必要な経費及び、生命倫理・安全対策に関わる諸問題に対する調査検討及び法令に基づく審査等を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	40.3	39.4	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	40.3	39.4	
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は、ライフサイエンス分野の研究開発について、効率的・効果的に推進すること等を目的としており、本経費の執行に当たっては、研究の発展・動向を踏まえた適時適切な対応が必要であることから、成果目標を定量的に示せるものではない。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	ライフサイエンス分野の研究開発の推進及び生命倫理・安全対策に関わる会議等の回数 ※ただし、本経費の執行に当たっては、研究の発展・動向を踏まえた適時適切な対応が必要であることから、活動実績の見込みを定量的に示せるものではない。		活動実績 (当初見込み)				() ()	-
単位当たりコスト	-(円/ー)		算出根拠	本事業は、活動実績の見込みを定量的に示せるものではなく、また、平成23年度新規要求事業であり活動実績がないため、1単位当たりのコストを記載することはなじまない。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	非常勤職員手当	21.8百万円	20.9百万円					
	諸謝金	0.7百万円	0.7百万円					
	職員旅費	2.9百万円	2.9百万円					
	委員等旅費	0.6百万円	0.6百万円					
	庁費	14.2百万円	14.2百万円					
	計	40.3百万円	39.4百万円					
※四捨五入の関係で、内訳と総額が一致しない場合がある。								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	○本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行するものであり、会計規則に基づき適切な処理に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、平成21年度行政事業レビューの指摘を踏まえたものとなっており、執行面における課題もなく、事業の成果目標もたてられていることから、適切な事業と認められる。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省
40.3百万円

非常勤職員手当	21.8百万円	} を含む
庁費	14.2百万円	
職員旅費	2.9百万円	
委員等旅費・諸謝金	1.3百万円	

ライフサイエンス分野において、効率的・効果的に研究開発を推進するため国内外の研究の状況や社会ニーズ等を把握するための実態調査を行うとともに、ライフサイエンス分野の中でも特に重要な先端医学研究、研究基盤整備の推進方策について検討を行う。また、最先端のライフサイエンス研究に関する諸課題に関し、法令に基づく対応、研究の進展状況を踏まえた対応、事業者への法令等の周知による法令等の遵守の徹底等を図り、最先端のライフサイエンス研究の発展と社会の調和に貢献する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	非常勤職員手当	21.8			
庁費	会議(ライフサイエンス委員会等)開催費等	14.2			
職員旅費	会議(ライフサイエンス委員会等)出席旅費等	2.9			
委員等旅費・諸謝金	会議(ライフサイエンス委員会等)出席謝金等	1.3			
計		40.3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

※四捨五入の関係で、内訳と総額が一致しない場合がある。